

西尾市事務評価シート

事務No.	30-016	事務内容	光熱水費集計・支出事務				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所
予算科目	04款	02項 04目	大事業	03	中事業		
事務事業名 (中事業名)	不燃物埋立事業 ( 一色埋立場管理運営事業 )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	施設維持管理における電気及び水を供給するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	施設維持管理における光熱水費を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	一般廃棄物最終処分場の水処理施設及び計量棟における光熱水費の請求書の確認及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	6,408,042円	6,688,000円	8,148,000円
人 工	0.0人	0.0人	0.0人
人 件 費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	6,408,042円	6,688,000円	8,148,000円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	6,408,042円	6,688,000円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	279,958円	H29 総事務費③の対前年度比率	4.37%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	電気料	従量電灯B・C、低圧・高圧電力	6,040,126円
	水道料	上水道	648,129円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 30-016

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、廃止した埋立場から順次光熱水費の支出を削減するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	決算額及び予算額は、不燃物埋立事業及び環境事業所管理運営事業の合計額である。現状では市内5か所の一般廃棄物最終処分場の維持管理が必要なため、光熱水費の支出は適正である。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、廃止した埋立場から順次光熱水費の支出を削減するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	電気及び水道について、適切な使用に努め、電気料を抑制できる契約を随時検討する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	一般廃棄物最終処分場は、市内に1か所又は無い状況である。
---------------	------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-017	事務内容	燃料費集計・支出事務				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所
予算科目	04款	02項	04目	大事業	02		
事務事業名 (中事業名)	収集車管理事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	ごみ収集等における車両等に燃料を補給するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	ごみ収集等における車両等に燃料費を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	ごみ収集等における燃料費の請求書の確認及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	5,714,761円	6,241,000円	5,592,000円
人 工	0.0人	0.0人	0.0人
人 件 費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	5,714,761円	6,241,000円	5,592,000円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	5,714,761円	6,241,000円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	526,239円	H29 総事務費③の対前年度比率	9.21%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	軽油	軽油代	5,524,901円
	ガソリン	レギュラーガソリン代	98,565円
	天然ガス	車両用天然ガス代	181,353円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 30-017

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から車両を廃止して順次燃料費の支出を削減するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適切であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント		決算額及び予算額は、収集車管理事業、不燃物埋立事業及び環境事業所管理運営事業の合計額である。現状では平原地区、一色地区、吉良地区一般廃棄物最終処分場にも車両を配置しているため、燃料費の支出は適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から車両を廃止して燃料費の支出を削減するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	直営と民間委託を比較検討し、ごみ収集業務を民間委託する可能性はある。					
事務全体の課題	燃料費の高騰が考えられるため、燃料単価が低いときに補給するなどの燃料費抑制の対策が引き続き求められる。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	ごみ収集業務は、各自治体の施策により直営又は民間委託で実施している。
---------------	------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-018	事務内容	通信料・放送受信料支出事務				
総合計画施策コード	---	事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所	
予算科目	04款 02項 04目	大事業	04	中事業			00
事務事業名 (中事業名)	環境事業所管理運営事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	施設管理運営における電話等の通信のため
事務の対象 (誰(何)のために)	施設管理運営における電話、FAX及びテレビの通信料等を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	市民及び関係機関からの電話、FAX及びテレビの通信料等の請求書の確認及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	453,331円	413,000円	471,000円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	453,331円	413,000円	471,000円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	453,331円	413,000円	471,000円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-40,331円	H29 総事務費③の対前年度比率	-8.90%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	通信運搬費	固定電話、携帯電話料金、FAX通信料	340,378円	
	放送受信料	日本放送協会、ケーブルテレビ受信料	72,265円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 30-018

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から電話を廃止して順次通信料の支出を削減するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント		決算額及び予算額は、不燃物埋立事業及び環境事業所管理運営事業の合計額である。現状では、平原地区、一色地区、吉良地区、幡豆地区一般廃棄物最終処分場の維持管理が必要なため、通信料・放送受信料の支出は適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から電話を廃止して、順次通信料の支出を削減するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	電話及びFAXについて、適切な使用に努め、通信料を抑制できる契約を随時検討する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市も連絡手段として、電話及びFAXを使用している。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

# 西尾市事務評価シート

事務No.	30-019	事務内容	消耗品等購入・物品管理				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所
予算科目	04款	02項	04目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	ごみ収集処理事務 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	ごみ収集等における消耗品等を購入し、適切に使用するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	ごみ収集等における消耗品費の支出及び適切に管理するため。
事務の概要 (具体的に何を)	ごみ収集等における作業用手袋等の必要な消耗品の購入及び管理。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	1,118,656円	1,648,000円	1,711,000円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	1,118,656円	1,648,000円	1,711,000円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,118,656円	1,648,000円	1,711,000円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	529,344円	H29 総事務費③の対前年度比率	47.32%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	ごみステーション散布用の消臭剂等、業務に必要な消耗品を購入したため。			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額	
	消耗品費	作業用手袋	288,511円	
	消耗品費	アルミシヨベル	32,508円	
	消耗品費	消臭剤	32,717円	

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 30-019

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から順次消耗品費の支出を削減するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	決算額及び予算額は、ごみ収集処理事務、収集車管理事業、不燃物埋立事業及び環境事業所管理運営事業の合計額である。現状では、市内5か所の一般廃棄物最終処分場の維持管理が必要のため、消耗品費の支出は適正である。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、終了した埋立場から順次消耗品費の支出を削減するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	消耗品の適切な購入に引き続き努める。また、修繕等で職員が対応可能であるものは、業者委託等ではなく消耗品等の購入により職員が対応する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	業務に必要な消耗品等は購入している。
---------------	--------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-034	事務内容	重機賃貸借契約				
総合計画施策コード	553	事務開始年度	平成23年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所	
予算科目	04款 02項 04目	大事業	03	中事業			02
事務事業名 (中事業名)	不燃物埋立事業 (一色埋立場管理運営事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般廃棄物最終処分場の埋立地を油圧ショベルで整地するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	油圧ショベルの賃貸借契約を行い、車両借上料を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	油圧ショベルの賃貸借契約の契約事務及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	7,685,280円	7,415,000円	5,210,000円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	7,685,280円	7,415,000円	5,210,000円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	7,685,280円	7,415,000円	5,210,000円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-270,280円	H29 総事務費③の対前年度比率	-3.52%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	車両借上料	油圧ショベル賃貸借契約(平原地区)	2,313,360円	
	車両借上料	油圧ショベル賃貸借契約(一色地区)	2,550,960円	
	車両借上料	油圧ショベル賃貸借契約(吉良地区)	2,550,960円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	埋立搬入量					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		2,580	t	2,956	t	1,157	t
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		2,979円		2,508円		4,503円	

●事業の終期

事務No. 30-034

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年4月
事務の終了時期が未定の場合の理由	平成30年度から平原地区一般廃棄物最終処分場の油圧ショベルを賃貸借から購入に切り替えたが、一色地区及び吉良地区は、今後の購入費用の予算による。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3	事務時間は適切なものになっているか	4		
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		3	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3		
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公平性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント	平成29年度までの決算額は、平原、一色、吉良埋立場管理運営事業の合計額であり、平成30年度の予算は、一色、吉良埋立場管理運営事業の合計額である。契約事務は、指名競争入札により適正に行われている。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	油圧ショベル購入の予算が確保できた場合は購入する。又は、西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、油圧ショベルの賃貸借契約をしない。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	埋立場統廃合に伴い、油圧ショベルの使用期間によって購入より賃貸借契約の経費が低コストであれば、引き続き民間業者からの賃貸借を検討する。					
事務全体の課題	長期的に経費を抑えるため、長期継続契約の対象とすることの検討を要する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	購入による市所有が大半を占める。
---------------	------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-039	事務内容	備品・覆土購入、支払い事務			
総合計画施策コード	553	事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所
予算科目	04款 02項 04目	大事業	03	中事業		
事務事業名 (中事業名)	不燃物埋立事業 ( 平原理立場管理運営事業 )					

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般廃棄物最終処分場の維持管理における必要な備品購入及び適正な覆土を実施するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	一般廃棄物最終処分場の維持管理における施設用備品及び工事用材料費の費用を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	一般廃棄物最終処分場の維持管理における施設用備品及び工事用材料費の請求書の確認及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	1,820,620円	1,692,000円	2,879,000円
人 工	0.0人	0.0人	0.0人
人 件 費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	1,820,620円	1,692,000円	2,879,000円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	1,820,620円	1,692,000円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-128,620円	H29 総事務費③の対前年度比率	-7.06%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	工事用材料	覆土用砕石等246.3m <sup>3</sup> (平原地区)	658,047円
	工事用材料	覆土用砕石等154m <sup>3</sup> (一色地区)	363,510円
	工事用材料	覆土用砕石等246.3m <sup>3</sup> (吉良地区)	358,330円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	覆土購入量					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		631	m <sup>3</sup>	617	m <sup>3</sup>	1,107	m <sup>3</sup>
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		2,885円		2,742円		2,601円	

●事業の終期

事務No. 30-039

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、順次覆土を終了するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント		決算額及び予算額は、不燃物埋立事業の合計額である。現状では、平原地区、一色地区、吉良地区、幡豆地区一般廃棄物最終処分場の覆土が必要なため、備品及び覆土購入の支出は適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、順次覆土を終了するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	覆土購入費を抑えるため、自治体の土木工事等で生じる土砂について、覆土として使用可能なものを引き取るなどの検討を引き続き要する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	業務に必要な備品及び覆土は購入している。
---------------	----------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-040	事務内容	埋立場計量集計（伝票印刷含む）				
総合計画施策コード	553	事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所	
予算科目	04款 02項 04目	大事業	03	中事業			01
事務事業名 (中事業名)	不燃物埋立事業 ( 平原理立場管理運営事業 )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般廃棄物最終処分場の搬入実績を把握し、適切な維持管理をするため。
事務の対象 (誰(何)のために)	一般廃棄物最終処分場の搬入実績を集計するため。また、計量伝票の印刷製本費の支出をするため。
事務の概要 (具体的に何を)	埋立ごみ、上泥、覆土の搬入実績の集計、印刷製本費の請求書の確認及び支出調書の作成。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	81,000円	81,000円	80,000円
人 工	0.0人	0.0人	0.0人
人 件 費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	81,000円	81,000円	80,000円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	81,000円	81,000円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	印刷製本費	計量伝票兼領収書（平原地区）	40,500円
	印刷製本費	計量伝票兼領収書（一色地区）	16,200円
	印刷製本費	計量伝票兼領収書（吉良地区）	16,200円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	印刷枚数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		3,000	組	5,000	組	4,500	組
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	年間搬入量					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		2,764	t	3,164	t	4,856	t
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		27円		16円		18円	

●事業の終期

事務No. 30-040

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、集計事務の縮小及び印刷製本費の支出を削減するため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント		決算額及び予算額は、不燃物埋立事業の合計額である。現状では、平原地区、一色地区、吉良地区、幡豆地区一般廃棄物最終処分場に搬入しているため、計量集計及び印刷製本費の支出は適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、集計事務の縮小及び印刷製本費の支出を削減するため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	埋立地の残余容量を正確に把握するため、必要に応じて測量を実施する。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	一般廃棄物最終処分場は、市内に1か所又は無い状況である。
---------------	------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	30-045	事務内容	用地賃貸借料・協力金契約、支払い			
総合計画施策コード	553	事務開始年度	平成17年度		担当課名	ごみ減量課環境事業所
予算科目	04款 02項 04目	大事業	03	中事業		
事務事業名 (中事業名)	不燃物埋立事業 ( 吉良埋立場管理運営事業 )					

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般廃棄物最終処分場の維持管理における用地の賃貸借及び地元町内会等への理解を得るため。
事務の対象 (誰(何)のために)	一般廃棄物最終処分場の維持管理について、用地の地権者との賃貸借契約及び賃貸借料等を支出するため。また、地元町内会に協力金を支出するため。
事務の概要 (具体的に何を)	用地の地権者との賃貸借契約及び支払い事務及び地元町内会との協力金協定の締結及び支払い事務。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	9,209,546円	9,050,000円	9,052,000円	
人 工	0.1人	0.1人	0.1人	
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	9,916,844円	9,760,461円	9,770,991円	
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	9,916,844円	9,760,461円	9,770,991円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-156,383円	H29 総事務費③の対前年度比率	-1.58%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額	
	敷地借上料	用地借上料 (一色地区)	2,970,000円	
	敷地借上料	用地借上料 (吉良地区)	2,192,926円	
	敷地借上料	用地借上料 (幡豆地区)	1,512,233円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	借地面積					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		51,728	m <sup>2</sup>	50,362	m <sup>2</sup>	50,362	m <sup>2</sup>
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	敷地借上料					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		6,895,644	円	6,735,819	円	6,738,000	円
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		192円		194円		194円	

●事業の終期

事務No. 30-045

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成30年2月
事務の終了時期が未定の場合の理由	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、用地賃貸借契約の更新をしないため。また、併せて協力金の削減の協議を行うため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント		決算額及び予算額は、不燃物埋立事業の合計額である。現状では、市内5か所の一般廃棄物最終処分場の維持管理が必要なため、用地賃貸借料及び協力金の支出は契約又は協定に基づき適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	西尾市埋立場統廃合計画により、将来的に埋立場を統廃合し、用地賃貸借契約の更新をしないため。また、併せて協力金の削減の協議を行うため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	一般廃棄物最終処分場の用地賃貸借について、用地購入との比較検討が必要である。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	すべて行政財産の市が大半を占める。賃貸借用地は買収を予定している。
---------------	-----------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---